

第 119 回日展

第 5 科（書） 特選授賞理由

題名

龍蟠

作者名

飯島冰壺

授賞理由

本作は余白が美しく際立っている。重量感溢れる潤筆部の書線に対し、文字により筆さばきに変化を持たせた渴筆部の表現が文字に立体構造を生み出している。黒と白のコントラストの妙と清澄感漲る快作といえる。

朝日影

井上邦子

授賞理由

この作品は、二集団による仮名の散らし書きの構成で、文字の大きさを中央部と前後半の行尾で変化させることで躍動感が感じられます。さらに行間の交響美も加わり紙面全体に要白美が生じ、明るい作だと思います。

秋晴れや

小野玲華

授賞理由

古筆「関戸本古今集」を基礎にした二段構成の中字かな作品。料紙の色を変え、上段のちらしと下段のちらしが心地良いハーモニーとなって響き合う。線はしなやかで強い線で凛として、見る者を魅了する。

嚴冬の洗禮

鈴木大有

授賞理由

郷土の冬の厳しさを讀んだ自作の詩である。開放的で伸びやか、線は北魏の強さと厳しさを駆使し、表現豊かにインパクトと健康感を醸し、独自性を感じる。次に繋がる現代書への可能性を秘めた魅力のある秀作である。

潮霞み

谷口成孝

授賞理由

日本の代表的な美意識の一つ、侘び寂びの世界に通ずる味わい深い佳品。力を内に秘め、打楽器的な放ち書きと弦楽器的な連綿が見事に交錯し、豊かで情緒ある格調高い雰囲気仕上がっている。

題名

薔薇花

作者名

筈井 淳

授賞理由

書き出しと最後の行は字幅が狭く高揚する気持ちをおさえ気味に書き、他行は作品中央の三行目に目が誘われるような工夫が伺われる。字の大小・字幅の変化を大胆につけ全体として自然な流麗美に溢れている。

投宿山家

原沢游古

授賞理由

行草書の基本である行の流れが緊張感のある線で見事に展開されている。線の骨格もあり、文字の大小感を生かし余白も美しい心地よい作になっている。

則天武后の語

古溝幽蛙

授賞理由

周時代の古代文字に現代の感性を取り入れ、方寸の世界にモダニズムを表現した名作である。特に刀法に魅力のある作で、鈍刀で刻した線は、鉄線に真綿を巻いた如く柔軟で強く今回出品作中の白眉である。方寸の世界に古代文字が生き生きと躍動している。

高青邱詩二首

平樂大龍

授賞理由

吳昌碩画賛を基礎として独自の理念で強靱な線と骨力ある字形に変貌したことが今回の成果につながった。強固な行立が行間の余白に響き明快な作となった。心の動きと筆が同調し自然な流れを生み健康的な快作となった。

禹廟

松下英風

授賞理由

日本的な叙情美の書を継承しつつ現代的な美の要素を取り入れた作。長い期間の自分の書に対する試行錯誤の跡がうかがえる。あくなき探求心により白を強調した味わい深い書を作りあげた。